

## 指定難病情報システム

指定難病等の医療費助成制度に関する自治体の認定  
および受給者証発行業務を支援し、  
法制度に準拠した最適なシステムをご提供します。

指定難病等情報システムは、指定難病等の医療費助成制度に関する自治体の認定および受給者証発行業務を支援するシステムです。

豊富な導入実績とノウハウを基に、法制度に準拠した最適なシステムをご提供します。

### 特長

#### 多彩な導入形態

指定難病、小児慢性、先天性血液、肝炎、肝がん・重度肝硬変の各種医療費助成制度に沿った業務システムをご提供します。5つの業務システムのうち、必要な業務のみでの導入が可能です。次年度以降の追加導入も可能です。

#### 庁内インフラを活用したWeb型システム

Webブラウザで動作するため、クライアントへの個別インストールは不要です。

#### 法制度に準拠したシステム

指定難病の対象疾病は300疾病以上あり、今後も増加見込みです。診断書のオンライン化をはじめ、制度の見直しが継続的に行われています。豊富な導入実績を活かし、法・制度に準拠したシステムを継続してご提供します。

## 詳細情報

### 機能

申請受付入力	新規申請、更新申請、変更申請など、医療費助成に関する各種申請の受付入力を行います。
審査会処理	審査会名簿の出力、審査会結果の入力を行います。
保険者照会処理	保険者照会関連帳票の出力・所得区分（適用区分）の入力を行います。
帳票・統計印刷	受給者証などの各種帳票印刷を行います。衛生行政報告例、受給者数統計などの集計・印刷を行います。
検索	受給者情報および申請履歴の検索を行います。また、業務データを一覧形式のファイルで出力することができ、出力項目は任意に指定可能です。
医療費取込	国保連、支払基金からの請求情報を取り込みます。請求情報の照会が可能です。
番号サーバ連携	宛名登録、情報照会、副本登録など、自治体中間サーバや団体内統合宛名システムとの連携機能を提供します。
マスタ管理	指定医療機関、指定医、保険者等の業務共通情報の登録・変更を行います。 指定医療機関、指定医向けの指定通知書の印刷も可能です。